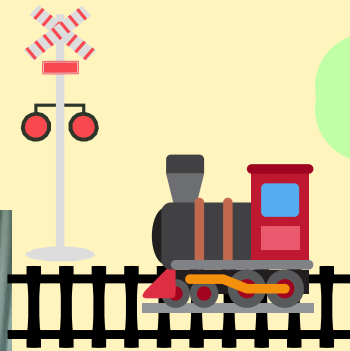


4・5・6
月

園長：こんな小さな年齢で役割交替のある
ごっこ遊びが楽しめるなんて、どの教科書
にも書いてないぞぉ～！



あ、“かんかんかんだうぞー”
ですね^^



りなちゃんが手でふみきりを作って、ふみきりが開い
たときにはちかくんが電車を走らせていたんですよ
ね。今度は役割を交代したりもして。
言葉はまだ互いになかった時期だけれど、その
中で、お互いのやりたいことを分かって一緒に遊ぶ姿
がすごいなあと思って撮った場面です。



はるきくんとわかちゃんのトンネル遊び
も、お互いの役割がしっかりあって、息
を合わせないとできない遊びです。



子どもたちの心と心がつながって、自然とうまれて
くる“遊びの呼吸”のようなものがありますよね



園長：自分の楽しいことをひとにもプレゼント！！好きな先生
に喜んでもらえたことがまた嬉しいのでしょうね。



「どうぞ～」と大人をスイング遊具に案内してくれましたよちゃん。
座ると、正面に回って揺らしてくれました。
「やってあげたい」の気持ちが芽生えている、そんな瞬間でした^^
自分が動かすとそれに合わせて大人が揺れるのが面白かったのか、大
爆笑のしょうちゃんです笑
楽しい気持ちが広がっていきますね♪



園長：かわりの中ではぐくまれていく感情が、やさしさや愛情に
育っていくプロセスを見せてくれているように思いますね。



ちっち組のお友だちに対して、やさしいまなざしを向けてみたり、
そーっとやさしい手つきで触れてみたり。
誰に教わったわけでもないけれど、小さいお友だちにそっとやさしく
関わってみようという気持ちが、見られるようになりましたね。



1期まとめ

進級して3か月も経つと、お友だち同士の関係性も徐々にできてき
ますね。この3か月の中でも、友だちに目を向けて関わろうとする姿がぐ
っと増えたようです。遊びの中でも生活の中でも、誰かと息を合わせて…
というような関わりが増えてきたり、「一緒に」を喜んだりする姿が広が
ってきたように思います。
そしてまた、「自分が！自分の！」と自我がたっぷり出てくるようにな
り、お友だちと気持ちがぶつかり合う場面も増えてきました。そうして、
気持ちをぶつけあったり、悔しい気持ちをしたり、葛藤したりする中で、
「そうか、どうしようか…」と一緒に相談して、折り合いをつけていく過
程・その子ども同士の気持ちのやりとりを大切にしてきました。